



少し、学んでみました



去る、令和3年7月25日開催された

愛媛県介護支援専門員協会 令和3年度第1回ステップアップn東予
感染症の理解とケアマネジメントへの応用-新型コロナウイルス感染症-
を受講されましたか？

愛媛労災病院感染管理認定看護師の菅原先生を講師に新型コロナウイルス感染症についての講義を受けました。病理や症状、検査や症例の定義や濃厚接触者の定義なども学ぶことが出来ました。また、ワクチンや変異株のお話もあり大変多くの学びがありました。

私たちケアマネジャーは、いつどこで感染者と接触するかわかりませんし、担当利用者や同居する家族が感染したり濃厚接触者となるかもわかりません。

今回の研修で、学んだ中に「ゾーニング」という作業がありました。

「レッドゾーン」は陽性者や濃厚接触者のゾーン。

「イエローゾーン」は防護具を着脱するエリアや濃厚接触となる職員が活動するエリア。

「グリーンゾーン」はいわゆるクリアなゾーン。

この考え方で、事例検討をしました。本人がコロナ感染陽性で妻は濃厚接触者。本人は要介護2の状態
で、妻と二人暮らし。

家屋見取り図を基に、本人たちの生活をどのようにするのかを検討しました。本人の病気や身体状況、
介護の必要性や他の支援者の有無など事例を基に、ゾーニングの作業と感染対策をどのようにするのかな
どをグループワークしました。

確かに!!

高齢者でも無症状なら入院は難しい。しかし、サービス利用は不可能。ましてや高齢者夫婦の生活なら
どのように生活を支援するのか・・・。

色々な意見交換をしながら『明日は我が身・・・』としみじみ考えておりました。

明確な正解はないのですが、改めて日頃のモニタリングの際にどういう動線で移動をしているの
か、どのように介護をしているのか確認する必要性を実感しました・・・。

双海の「トゥクトゥク」 乗った人～!?

色々なメディアで取り上げられて、双海の海岸通りを走っている姿を見かけた人も多いと思います。

今は2台あり、少人数でなくても回れるみたいですよ・・・。

海沿いの道以外でも山の方の棚田を見たり、楽しい旅ができるのでは・・・?



ボソッと ひと言

コロナ感染症の感染確認者数は過去最高を記録し続けて、東京
2020オリンピックの開催が影響したのか否か…。この数年、暗い話が尽
きませんでした。なんだかんだ言いながら選手が頑張ってメダルを取ったり
結果を出したりすると一緒に喜んだり時には涙したり…。出場選手に罪
はないよな…と思うばかりです。パラリンピックが無事に開催されることを願
うばかりです。

編集責任

伊予市主任ケアマネ連絡会
事務局:伊予市地域包括支援センター
横田弘美
089-909-6260

Let's ケアマネいよし

防災研修 Part 1 開催しました!



令和3年6月28日 伊予市役所4階大会
議室にて、十分な感染対策に心掛けたく
えで今年度最初の伊予市介護支援専門
員連絡会を開催しました。
昨年は、コロナウイルス感染症の拡大等
により連絡会の開催が皆無の状況でし
た。今年度も集合研修やグループワーク
の開催には不安もありましたが、無事に開
催する事ができました。

今回の研修は、『防災』の中でも、ケアマネとしての初
動を学ぼうとする内容にしました。

災害発生時から、私たちは「一個人」として そして
「ケアマネジャー」として、どのように行動をするのか。

その学びから『備える』事の必要性を実感して頂きた
かったのです。

今や、災害は他人事ではありません。自らの生活圏の
中にもいつ どんな災害が起こるかわからない状況
で、万一の備えがあれば少しは安心できるのではな
いでしょうか・・・。



詳細は、内面を御覧下さい!



今年度の「伊予市介護支援専門員連絡会」は…

防災 Year です

第1回目は、「ケアマネジャーの災害時初動を学ぶ」でした。

- ①ケアマネジャーの災害時初動期を学び、実践できるようになる。
- ②参加者全員が災害への備えが出来、各事業所に持ち帰り、対応できるようにする。
- ③地域資源の再確認ができるようにする。

研修では、南海トラフ巨大地震の発生を想定した机上訓練を実施しました。災害の程度や臨場感を出すため、DVDを使って会場に地震の映像を流しました。

その後、各グループでの学びに移りました。

グループは、特別養護老人ホーム、通所施設、訪問介護・訪問看護、居宅介護、包括、市役所の事業別にメンバーリングしました。

自分自身として
ケアマネジャーとして
事業所として



何をすべきなのか、何ができるのか…を考えて。

そのために、どこと連携を図るのか、どのように情報を集めるのか…

情報収集、情報交換をシュミレーションしました



例えば…

特別養護老人ホームには、被災状況や、避難者の受け入れの可否、人数。医療が必要な人の受け入れができるか、デイを利用している人の受け入れができるか。ショートステイの利用は可能か、などという問い合わせがありました。

訪問看護ステーションには、けが人の処置をお願いしたい。酸素が必要な人が居るが。医療依存度が高いケースの利用者に対してセカンドフォローしてくれる訪問看護は？などの問い合わせがありました。

包括支援センターには、地域の情報が知りたい。道路状況が知りたい。避難先の受け入れ状況が知りたい。備蓄の補充をお願いできますか？などという連絡がありました。

市役所には、地区による道路等の被災状況の問い合わせ。備蓄品の補充は可能か？避難所の開設場所。あいあいプラン要援護者の一覧は？在宅酸素や人工呼吸器を動かすための自家発電機のあるところは？などの問い合わせがありました。

上記のことから、いくつかの事業所や窓口に同じような質問があり、問い合わせを受けた方も答えられない内容もたくさんありました。

被災状況や、受け入れ状況など、一軒一軒連絡をするとしてもインフラがストップしていたらどうしますか？

このことから、効率よく 必要な情報を 的確に集めて拡散する事の大切さがわかりました。

そして…

第2回目の開催を検討した際 今年1年を防災を学ぶ1年にしようという事になりまして…

来る、令和3年9月22日 水曜日 午後から第2回伊予市介護支援専門員連絡会を開催します。

「ケアマネジャーが 日頃 備えること」を学びます。

ここでは、ケアマネジャーとして と、居宅介護支援事業所として 平時から行う備えについて学ぼうと思います。

そして、第3回目では「地域の備えで有事に備える」として、伊予市における関係各所との連携について防災の面から考える会にしたいと考えています。

改めて、開催のご案内は差し上げます。ふるってご参加ください！

なお、コロナ感染状況を見て zoomを使ったweb研修に変更する可能性もあります。その際にも同じ日程での開催予定です。どうぞ皆様のご参加をお待ちしております。

